

2017年2月15日

就職みらい研究所

株式会社 リクルート キャリア

就職白書2017 - インターンシップ編 -

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳川 昌紀）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、企業および学生のインターンシップの実施や参加の状況を明らかにするため、全国の新卒採用を実施している企業と、就職活動を行った2017年卒業予定の大学4年生・大学院2年生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【インターンシップの実施状況】＜企業＞

- 新卒採用を実施している企業のうち、2016年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業は64.9%と、2015年度の55.5%より9.4ポイント増加した。また、2017年度に実施予定の企業は68.5%と、2016年度よりも3.6ポイント増加する見通しである。

【2017年卒学生のインターンシップへの参加状況】＜学生＞

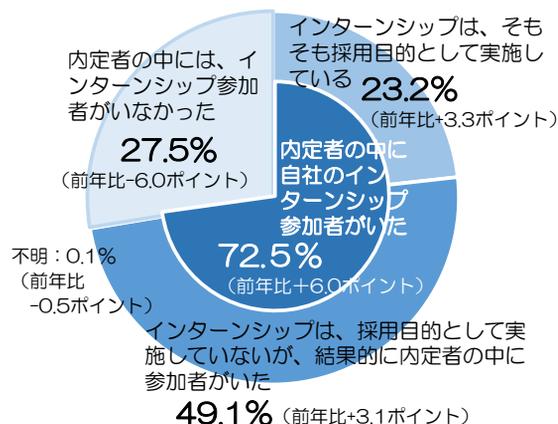
- 2017年卒学生のうち、インターンシップ参加者は43.7%と、2016年卒より3.8ポイント増加した。

【内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社状況】

- 企業の2017年卒の内定者の中に、インターンシップ参加者がいたかどうかについて、参加者がいたのは72.5%で、2016年卒よりも6.0ポイント増加した。また、そもそも採用目的として実施しているのは23.2%と、2016年卒よりも3.3ポイント増加した。
- インターンシップ参加学生のうち22.4%がインターンシップ参加企業に入社予定である。参加企業ではないが、同業種の企業に入社予定である学生は27.4%で、合わせて49.8%の学生がインターンシップに参加した業種へ入社予定となった。

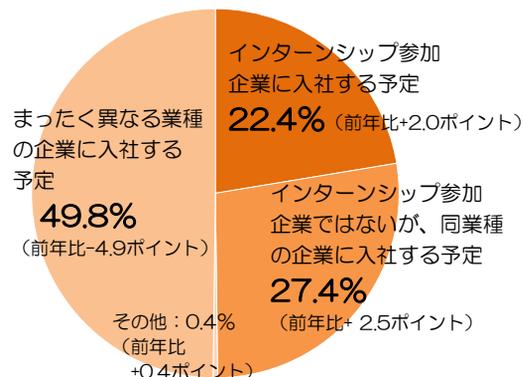
＜企業＞

- 内定者のインターンシップ参加状況
(インターンシップ実施企業/単一回答)



＜学生＞

- インターンシップ参加企業への入社予定状況
(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
Mail: kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
I. インターンシップの実施状況<企業>	
1) 実施状況	3
2) 実施期間	3
3) 前年度と比較した際の変更および変更予定状況	4
4) 実施目的と成果	5
5) 実施における苦勞や懸念点	6
6) 実施対象	6
7) 受け入れ部門/プログラム内容/指導担当者	7
8) 参加者への評価等のフィードバック状況	7
9) インターンシップ選者と採用選考基準の相違/選考方法	8
II. 2017年卒の学生のインターンシップへの参加状況<学生>	
1) 参加状況/参加社数	10
2) 参加期間/プログラム内容	11
3) 参加目的/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと	12
4) 参加してよかったと思う点/参加しなかった理由	13
5) インターンシップでの報酬等の支給状況	14
6) インターンシップ参加企業へのプレエントリー状況	15
III. 内定者のインターンシップ参加状況<企業・学生>	
1) 内定者のインターンシップ参加状況、 インターンシップ参加企業への入社予定状況	16
参考. インターンシップの参加期間による違い<学生>	
1) 参加期間毎に見るインターンシップの内容/参加時期	18
2) 参加期間毎に見るインターンシップの参加目的/参加してよかったと思う点	19

【調査概要】

今回調査：就職白書2017

【企業調査】

2017年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
 調査方法：郵送調査
 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,501社
 調査期間：2016年12月18日～2017年1月25日
 回収社数：1,229社（回収率27.3%）

【学生調査】

2017年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する
 調査方法：インターネット調査
 ー調査協力：株式会社インテージ
 調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女を対象
 調査期間：2016年12月26日～2017年1月17日
 集計対象：2,295人

前回調査：就職白書2016

【企業調査】

2016年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
 調査方法：郵送調査
 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,050社
 調査期間：2015年12月24日～2016年1月28日
 回収社数：1,260社（回収率31.1%）

【学生調査】

2016年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する
 調査方法：インターネット調査
 ー調査協力：株式会社インテージ
 調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女を対象
 調査期間：2016年1月5日～2016年1月19日
 集計対象：2,146人

《集計方法について》

■学生調査

大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体の構成比が実際の母集団に近づくよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。大学生と大学院生を合わせた学生全体については、大学生と大学院生の構成比に関して、同様のウェイトバック集計を行ったため、大学生と大学院生の合計値が、学生全体の値と一致しない。

《調査結果を見る際の注意点》

■ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

■ 図表の一部で、今回調査と前回調査のポイント差をカッコ内に記載した。

例：14.2%（-6.7）の場合、前回調査より6.7ポイント減少

《地域区分の内訳》

関東＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外

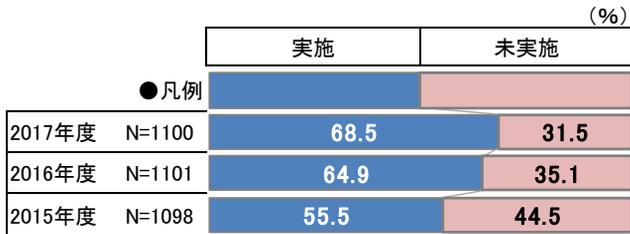
《その他》

■ 年度は、4月から翌年3月までとしている。

1) 実施状況

新卒採用を実施している企業のうち、2016年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業は64.9%と、2015年度の55.5%より9.4ポイント増加した。また、2017年度に実施予定の企業は68.5%と、2016年度よりも3.6ポイント高い。

■インターンシップの実施（予定）状況（全体／単一回答）



※今回調査の、2015年度実績、2016年度実績および予定、2017年度予定に関する回答結果を集計
 ※2016年度および2017年度は、調査時点以降の予定を含めた回答

□従業員規模および業種、地域別インターンシップの実施（予定）状況

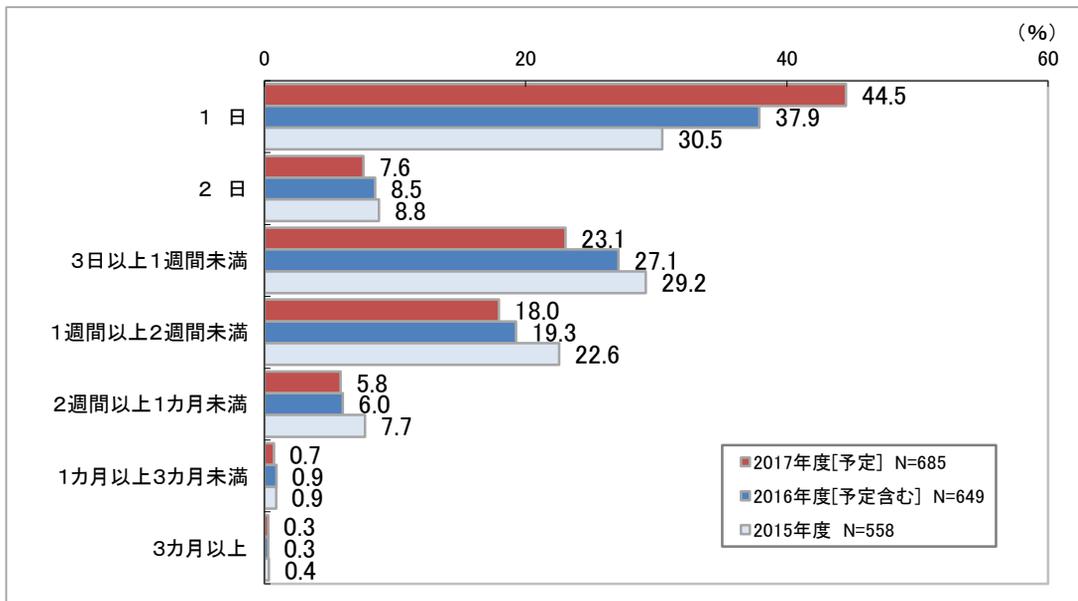
	2015年度		2016年度		2017年度		
	N	実施率 (%)	N	実施率 (%)	N	実施率 (%)	
全体	1098	55.5	1101	64.9	1100	68.5	
従業員規模	300人未満	278	36.3	276	41.7	279	46.2
	300～999人	391	55.5	393	65.6	393	70.2
	1000～4999人	323	64.4	325	75.7	323	78.6
	5000人以上	106	78.3	107	88.8	105	90.5
業種	建設業	79	57.0	80	63.8	80	75.0
	製造業	371	52.0	368	61.7	366	66.7
	流通業	228	52.6	231	62.3	230	67.4
	金融業	116	67.2	116	76.7	118	78.8
	サービス・情報業	302	57.3	304	66.4	303	66.3
地域	関東	480	55.2	483	68.1	483	68.9
	中部	234	55.1	236	63.6	229	69.0
	近畿	148	51.4	146	57.5	150	66.0
	その他地域・計	236	58.9	236	64.0	238	68.9

2) 実施期間

【2015～2017年度いずれかの年度で実施/実施予定】

2015～2017年度いずれかで、インターンシップを実施もしくは実施予定の企業に、実施期間（主なもの）を尋ねたところ、いずれの年度においても「1日」が最も多く、その割合は年々増加している。

■インターンシップの実施期間（各年度のインターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 各年度単一回答）



※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模、業種、地域の不明・無回答企業があるため、規模別、業種別、地域別の計と全体は一致しない

3) 前年度と比較した際の変更および変更予定状況 【2015~2017年度いずれかの年度で実施/実施予定】

2015~2017年度にインターンシップを実施または実施予定の企業において、前年度と比べた変更状況について見る。まず、2016年度は、2015年度と比較して「同じ」が多いものの、「受け入れ人数」では45.4%、「回数」では38.9%、「内容」では39.1%、「時期」では25.3%が、それぞれ「増やした/増やす予定」または「変更した/変更する予定」と回答している。次に2017年度について見ると、「受け入れ人数」で36.6%、「回数」で33.0%が「増やす予定」と回答している。

■2016年度と前年(2015年)度を比べた変更状況、および、2017年度と前年(2016年)度を比べた変更予定状況
(インターンシップ実施企業[実施予定含む]ノそれぞれ単一回答)

※「参考)2015年度」は前回調査における、2014年度との比較を掲載。

【受け入れ人数】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2017年度	N=680	36.6	61.8	1.6
2016年度	N=581	45.4	50.6	4.0
参考)2015年度	N=526	43.2	51.7	5.1

【対象者】(広げた/広げる予定)

		(%)		
		広げた	同じ	絞った
●凡例				
2017年度	N=679	18.4	79.2	2.4
2016年度	N=579	20.9	76.0	3.1
参考)2015年度	N=527	22.6	73.8	3.6

【期間】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2017年度	N=674	17.5	78.9	3.6
2016年度	N=579	19.7	73.9	6.4
参考)2015年度	N=525	20.6	71.2	8.2

【回数】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2017年度	N=675	33.0	64.4	2.5
2016年度	N=581	38.9	57.0	4.1
参考)2015年度	N=526	35.7	60.8	3.4

【内容】(変更した/変更する予定)

		(%)	
		変更した	同じ
●凡例			
2017年度	N=668	33.1	66.9
2016年度	N=580	39.1	60.9
参考)2015年度	N=524	36.5	63.5

【時期】(変更した/変更する予定)

		(%)	
		変更した	同じ
●凡例			
2017年度	N=673	22.4	77.6
2016年度	N=581	25.3	74.7
参考)2015年度	N=526	30.2	69.8

※データは無回答サンプルを除いて集計

4) 実施目的と成果

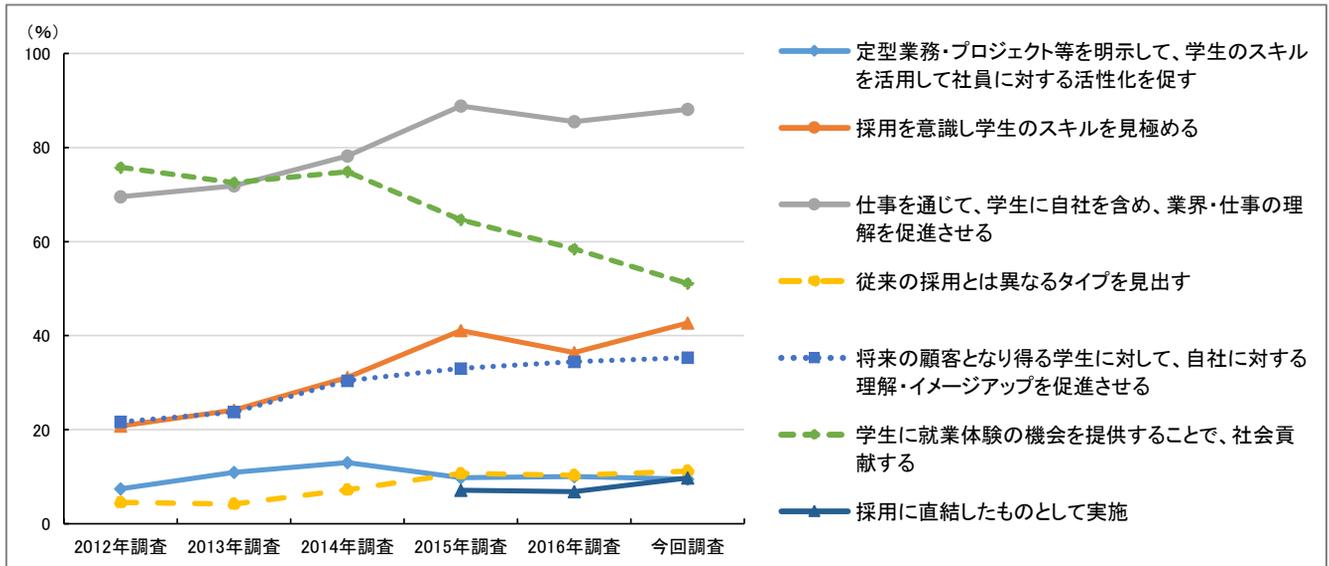
【当該年度のいずれかの年度で実施】

2015年度～2017年度のいずれかにインターンシップを実施（予定も含む）した企業に、実施目的を尋ねると、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」（88.1%）が最も多く、次いで「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」（51.1%）であった。

目的に対する成果を見ると、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」（81.0%）が最も多く、次いで「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」（42.9%）で、目的と同順であった。

実施目的について2012年調査より経年で見ると、2013年調査を境に、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」が「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」と逆転し、その割合は年々減少している。

■ インターンシップの実施目的（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）



*「その他」「特に目的を設定していない」は、グラフでは割愛。下記の表組を参照。

□ インターンシップの実施目的（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

N		定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	採用を意識し学生のスキルを見極める	仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	従来の採用とは異なるタイプを見出す	将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	採用に直結したものとして実施	その他	特に目的を設定していない
今回調査	759	9.5	42.7	88.1	11.2	35.3	51.1	9.7	2.6	0.3
2016年調査	717	10.0	36.4	85.5	10.3	34.4	58.4	6.8	3.5	0.7
2015年調査	645	9.8	41.1	88.8	10.7	33.0	64.7	7.1	2.8	0.3
2014年調査	569	13.0	31.1	78.2	7.2	30.4	74.9		3.9	1.1
2013年調査	430	10.9	24.2	71.9	4.2	23.7	72.6		5.3	
2012年調査	351	7.4	20.8	69.5	4.6	21.7	75.8		5.4	

*「特に目的を設定していない」は、2014年調査より追加。

*「採用に直結したものとして実施」は、2015年調査より追加。

■ インターンシップの実施目的に対する成果（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

N		定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	採用を意識し学生のスキルを見極める	仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	従来の採用とは異なるタイプを見出す	将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	採用に直結したものとして実施	その他
今回調査	652	7.1	31.7	81.0	6.0	27.6	42.9	7.1	2.6
2016年調査	622	8.7	29.3	81.5	7.1	28.6	51.0	4.5	3.2
2015年調査	552	8.3	30.1	84.8	6.2	27.4	60.0	3.4	2.5
2014年調査	522	11.1	24.3	74.5	5.2	25.3	69.7		3.4

*【目的に対する成果】は、2014年調査より実施。

*「採用に直結したものとして実施」は、2015年調査より追加。

※データは無回答サンプルを除いて集計

5) 実施における苦労や懸念点

【当該年度実施】

2016年度にインターンシップを実施（予定も含む）した企業にその苦労や懸念点を尋ねると、「プログラムの企画・設計」（80.5%）「社内協力者の巻き込み」（73.7%）、「参加者の募集・選考」（47.6%）の順に多かった。さらに、最も苦労・懸念した点を尋ねると、「プログラムの企画・設計」（37.4%）、「社内協力者の巻き込み」（29.8%）の順に多かった。

■インターンシップを実施する際の苦労や懸念点（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

（%）

	N	プログラムの企画・設計	社内協力者の巻き込み	参加者の募集・選考	プログラムの実施	運営上の事前手配	プログラム終了後のフォロー	事務手続き	その他	特になし
2016年度	763	80.5	73.7	47.6	40.2	38.4	36.7	17.6	0.7	4.1
2015年度	722	78.5	74.5	44.6	45.4	38.4	32.1	23.3	0.8	3.7
2014年度	634	78.7	72.7	43.1	41.6	39.7	31.4	25.1	0.5	5.0

■インターンシップを実施する際の最も苦労・懸念した点（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 単一回答）

（%）

	N	プログラムの企画・設計	社内協力者の巻き込み	参加者の募集・選考	プログラム終了後のフォロー	プログラムの実施	運営上の事前手配	事務手続き	その他
2016年度	688	37.4	29.8	15.8	7.7	3.9	2.8	1.9	0.7
2015年度	642	32.9	38.0	11.1	6.5	6.1	3.1	1.6	0.8
2014年度	563	34.8	39.1	10.1	5.5	4.4	3.7	2.0	0.4

6) 実施対象

【当該年度実施】

2016年度のインターンシップ実施対象は、前年度と同様に「大学3年生」が94.0%と突出して多く、次いで、大学院1年生の52.0%であった。

■インターンシップの実施対象（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

（%）

	N	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	大学院1年生	大学院2年生以上	日本の大学(院)在学中の外国人留学生	海外の大学(院)在学中の外国人学生	海外の大学(院)在学中の日本人留学生	既卒者
2016年度	696	29.6	36.6	94.0	31.9	52.0	24.9	24.6	11.5	11.8	7.0
2015年度	659	26.7	32.3	92.3	29.9	49.8	23.1	23.8	11.1	11.7	6.8
2014年度	569	29.9	36.6	93.0	31.5	54.5	26.2	24.4	12.3	13.0	7.0

※データは無回答サンプルを除いて集計

7) 受け入れ部門／プログラム内容／指導担当者

【当該年度実施】

2016年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業に、インターンシップの受け入れ部門を尋ねると、「人事部門」（58.6%）が最も多く、次いで「技術・設計部門」（27.7%）、「営業・販売部門」（27.0%）の順であった。インターンシップのプログラム内容について見ると、「通常業務でなく別の課題やプロジェクト」（51.7%）が最も多く、「職場や工場の見学」（48.3%）「社員に同席あるいは同行」（32.7%）の順であった。インターンシップ受け入れ学生を直接指導する担当者を見ると、「一般社員クラス」（75.6%）が最も多く、「係長・主任・リーダークラス」（62.5%）「課長・課長と同等クラス」（42.4%）の順であった。

■ インターンシップ受け入れ部門（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	人事部門	人事部門以外のスタッフ系部門	技術・設計部門	営業・販売部門	製造部門	研究・開発部門	その他
2016年度	693	58.6	9.2	27.7	27.0	13.0	16.7	8.5
2015年度	658	56.1	9.7	27.7	25.7	16.0	17.9	7.1
2014年度	569	54.7	14.1		29.5	18.6	27.1	12.0

*「技術・設計部門」は、2015年度より追加。

■ インターンシッププログラム内容（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	社員に同席あるいは同行	社員の基幹的な業務の一部	社員の補助的な業務の一部	通常業務でなく別の課題やプロジェクト	職場や工場の見学	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部	会社・仕事・業界に関する説明のみ	その他
2016年度	695	32.7	17.7	32.1	51.7	48.3	5.9	20.1	4.2
2015年度	661	33.4	21.6	35.2	53.1	43.1	9.1		3.3
2014年度	569	36.9	22.8	40.4	51.1	41.8	9.0		3.3

*「会社・仕事・業界に関する説明のみ」は、2016年度より追加。

■ インターンシップ受け入れ学生を直接指導する担当者（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	一般社員クラス	係長・主任・リーダークラス	課長・課長と同等クラス	部長・部長と同等クラス	役員・役員と同等クラス以上	その他
2016年度	694	75.6	62.5	42.4	18.6	5.9	0.9
2015年度	661	71.6	62.9	45.7	16.2	2.7	1.4
2014年度	571	72.2	63.2	43.8	16.1	4.2	1.6

8) 参加者への評価等のフィードバック状況

【当該年度実施】

2016年度のインターンシップ参加者に対しての、評価等のフィードバック状況は、「学生にのみ直接している」（37.9%）が最も多く、前年度の33.4%より4.5ポイント増加した。

■ インターンシップ参加者への評価等のフィードバック状況（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／単一回答）

（%）

		学生にのみ直接している	学生にはしていないが大学へしている	学生および大学の両方へしている	特にしていない
●凡例					
2016年度	N=684	37.9	15.5	17.5	29.1
2015年度	N=655	33.4	16.6	23.1	26.9
2014年度	N=554	30.0	18.8	30.3	20.9

（%）

	N	全体	従業員規模				業種				
			300人未満	300～999人	1000～4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業
	684	107	250	235	92	51	216	138	88	190	
学生にのみ直接している	37.9	24.3	34.4	40.4	56.5	15.7	38.4	45.7	27.3	42.1	
学生にはしていないが大学へしている	15.5	19.6	20.4	10.2	10.9	25.5	15.3	16.7	19.3	10.5	
学生および大学の両方へしている	17.5	26.2	18.8	14.9	10.9	33.3	19.0	13.8	14.8	15.8	
特にしていない	29.1	29.9	26.4	34.5	21.7	25.5	27.3	23.9	38.6	31.6	

※データは無回答サンプルを除いて集計

9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違／選考方法

【当該年度実施】

2016年度のインターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との相違を見ると、「全く同じ」であるのは29.2%で、「多少異なる」35.6%と「全く異なる」35.2%を合わせると、70.8%が異なっていると回答している。また、選考基準が異なっている場合、どちらが厳しいかを聞いたところ、「採用の方が厳しい」が73.6%で、「どちらかというと採用の方が厳しい」の19.7%を合わせると93.3%であり、ほとんどが採用選考の基準の方が厳しいと回答している。

■ インターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との相違（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／単一回答）

		（%）			
		全く同じ	多少異なる	全く異なる	
●凡例					異なる ・計
2016年度	N=620	29.2	35.6	35.2	70.8
2015年度	N=600	27.5	39.2	33.3	72.5
2014年度	N=538	22.5	37.5	40.0	77.5

		（%）									
	N	全体	従業員規模				業種				
			300人未満	300～999人	1000～4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業
	620	620	98	228	211	83	44	199	126	79	171
全く同じ		29.2	31.6	28.5	30.3	25.3	36.4	27.1	29.4	25.3	31.0
多少異なる		35.6	25.5	36.4	36.5	43.4	31.8	38.2	34.1	39.2	33.3
全く異なる		35.2	42.9	35.1	33.2	31.3	31.8	34.7	36.5	35.4	35.7

■ インターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との比較（選考基準が異なる企業／単一回答）

		（%）					
		インターンシップの方が厳しい	どちらかという とインターン シップの方が 厳しい	ほぼ同じ基準	どちらかという と採用の方が 厳しい	採用の方が 厳しい	
●凡例							採用の方 が厳しい・ 計
2016年度	N=432	1.4	0.5	4.9	19.7	73.6	93.3
2015年度	N=422	1.2	0.5	5.2	22.3	71.3	93.6
2014年度	N=399	1.0	0.2	2.5	18.3	76.4	94.7

		（%）									
	N	全体	従業員規模				業種				
			300人未満	300～999人	1000～4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業
	432	432	67	162	144	59	28	143	88	57	116
インターンシップの方が 厳しい		1.4	—	0.6	2.8	1.7	—	2.8	1.1	—	0.9
どちらかという とインターン シップの方が 厳しい		0.5	—	0.6	0.7	—	—	0.7	—	1.8	—
ほぼ同じ基準		4.9	4.5	3.1	6.3	6.8	7.1	7.0	3.4	5.3	2.6
どちらかという と採用の方 が厳しい		19.7	10.4	18.5	20.8	30.5	14.3	21.0	19.3	15.8	21.6
採用の方が 厳しい		73.6	85.1	77.2	69.4	61.0	78.6	68.5	76.1	77.2	75.0

※データは無回答サンプルを除いて集計

9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違／選考方法

【当該年度実施】

2016年度のインターンシップ参加者の選考方法は、「書類」が41.8%で最も多く、「先着順や抽選」の28.8%が続くが、「選考はしていない」が35.2%となっている。

従業員規模別に見ると、規模が小さくなるにつれて、「選考はしていない」が多くなり、特に、300人未満企業では半数近くとなっている。一方、5000人以上企業では、「書類」が43.0%で最も多く、続いて「先着順や抽選」が33.3%で、「選考はしていない」は22.6%である。

■ インターンシップ参加者の選考方法(インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答)

(%)

	N	書類	適性試験	筆記試験	面接	先着順や 抽選	選考はして いない	その他
2016年度	687	41.8	7.1	2.3	16.4	28.8	35.2	5.8
300人未満	109	32.1	8.3	2.8	18.3	23.9	49.5	4.6
300～999人	253	43.9	3.6	2.0	11.9	27.3	38.3	4.3
1000～4999人	232	43.5	7.8	3.0	16.8	31.0	30.2	6.0
5000人以上	93	43.0	14.0	1.1	25.8	33.3	22.6	10.8
2015年度	652	45.7	7.5	3.8	17.3	25.8	35.6	5.2
300人未満	104	26.0	5.8	2.9	13.5	22.1	51.9	4.8
300～999人	241	44.0	5.8	4.6	14.9	24.5	41.1	4.6
1000～4999人	236	52.1	6.8	3.0	15.7	27.1	29.2	4.7
5000人以上	71	59.2	18.3	5.6	36.6	31.0	14.1	9.9
2014年度	562	56.6	5.2	2.5	21.7	25.8		22.4
300人未満	69	39.1	2.9	1.4	14.5	26.1		33.3
300～999人	184	52.2	3.8	2.7	16.3	25.5		27.2
1000～4999人	204	60.3	3.4	2.0	18.6	26.5		19.6
5000人以上	95	69.5	12.6	3.2	41.1	24.2		12.6

*「選考はしていない」は、2015年度より追加。

※データは無回答サンプルを除いて集計

1) 参加状況/参加社数

2017年卒学生のうち、インターンシップ参加者は43.7%と、2016年卒よりも3.8ポイント増加した。インターンシップ参加社数は1社が37.6%と最も多く、次いで2社の24.7%であった。インターンシップの平均参加社数は3.07社で、年々増加している。

■インターンシップへの参加状況(学生全体/単一回答)

		(%)	
		参加した	参加しなかった
●凡例			
2017年卒	N=2295	43.7	56.3
2016年卒	N=2146	39.9	60.1
2015年卒	N=2539	26.9	73.1
2014年卒	N=1610	23.9	76.1
2013年卒	N=1645	17.4	82.6

■学校種および文理、地域別のインターンシップへの参加状況

		(%)					
		2015年卒		2016年卒		2017年卒	
		N	参加率	N	参加率	N	参加率
大学生	全体	2185	27.0	1822	39.4	2002	42.9
	文系	1458	28.9	1216	40.5	1350	41.7
	理系	727	23.2	606	37.0	652	45.3
	関東	986	29.6	817	42.8	882	45.7
	中部	284	25.2	252	36.7	265	42.1
	近畿	448	26.2	358	36.6	412	40.6
	その他地域・計	466	23.2	394	36.4	443	39.9
大学院生	全体	354	26.0	324	44.1	293	50.2
	文系	56	25.0	48	25.0	46	26.1
	理系	298	26.2	276	47.5	247	54.7
	関東	156	30.8	124	42.7	108	45.4
	中部	44	11.4	59	45.8	46	60.9
	近畿	78	29.5	59	50.8	62	56.5
	その他地域・計	76	21.1	82	40.2	77	45.5

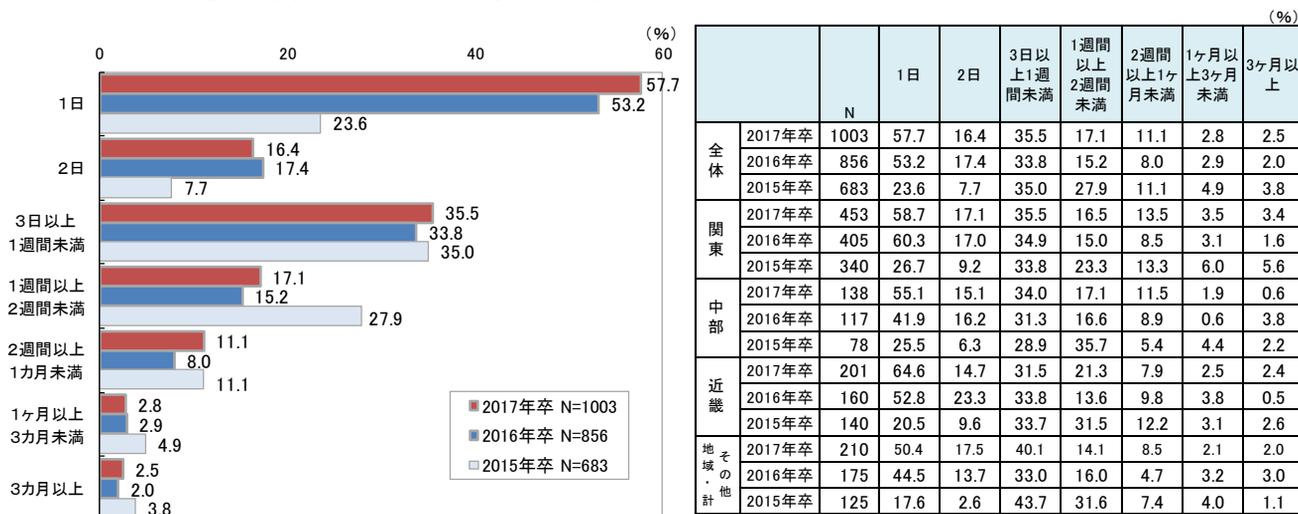
■インターンシップの参加社数の内訳(インターンシップ参加者/単一回答)

		(%)							
		N	1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	平均社数
全体	2017年卒	1003	37.6	24.7	15.5	4.4	7.5	10.3	3.07社
	2016年卒	856	48.9	24.8	10.8	3.4	6.2	5.8	2.32社
	2015年卒	683	67.8	18.6	8.4	1.4	2.2	1.5	1.63社
関東	2017年卒	453	34.0	24.3	16.2	4.9	8.5	12.1	3.26社
	2016年卒	405	42.6	25.8	13.1	4.1	7.3	7.2	2.60社
	2015年卒	340	60.9	21.0	11.4	1.6	2.9	2.2	1.82社
中部	2017年卒	138	47.3	25.4	10.1	1.6	6.5	9.1	2.57社
	2016年卒	117	62.3	20.7	7.7	2.2	6.7	0.4	1.79社
	2015年卒	78	71.4	18.3	4.7	2.1	2.5	1.1	1.59社
近畿	2017年卒	201	33.6	21.4	20.3	4.2	10.3	10.1	3.36社
	2016年卒	160	50.0	20.1	12.2	4.4	6.6	6.8	2.42社
	2015年卒	140	72.0	18.1	6.2	1.1	1.3	1.3	1.49社
地域・計	2017年卒	210	42.7	28.0	13.0	5.4	3.4	7.5	2.72社
	2016年卒	175	53.7	29.8	6.4	1.9	3.0	5.2	1.95社
	2015年卒	125	79.6	13.2	5.1	0.9	1.1	-	1.31社

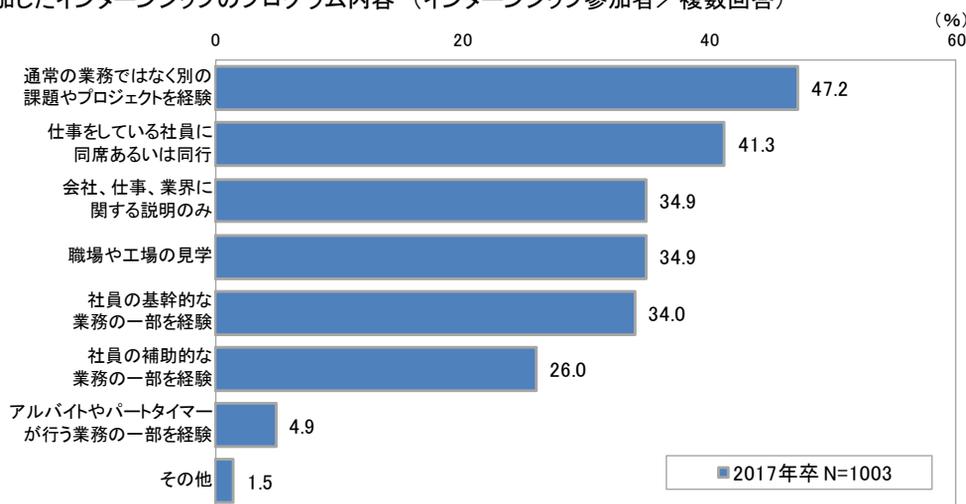
2) 参加期間／プログラム内容

インターンシップ参加期間は、「1日」(57.7%)が最も多く、次いで「3日以上1週間未満」(35.5%)であった。
 参加したインターンシップのプログラム内容を見ると、「通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験」(47.2%)が最も多く、次いで「仕事をしている社員に同席あるいは同行」(41.3%)であった。

■インターンシップの参加期間 (インターンシップ参加者／複数回答)



■参加したインターンシップのプログラム内容 (インターンシップ参加者／複数回答)

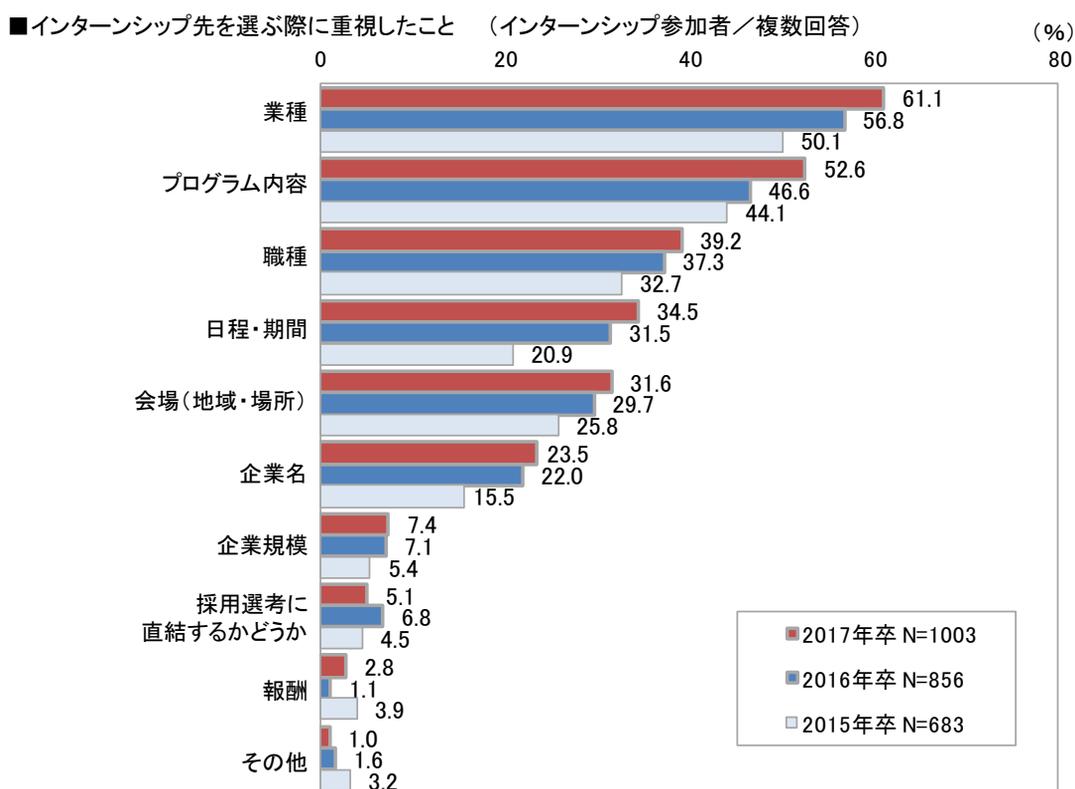
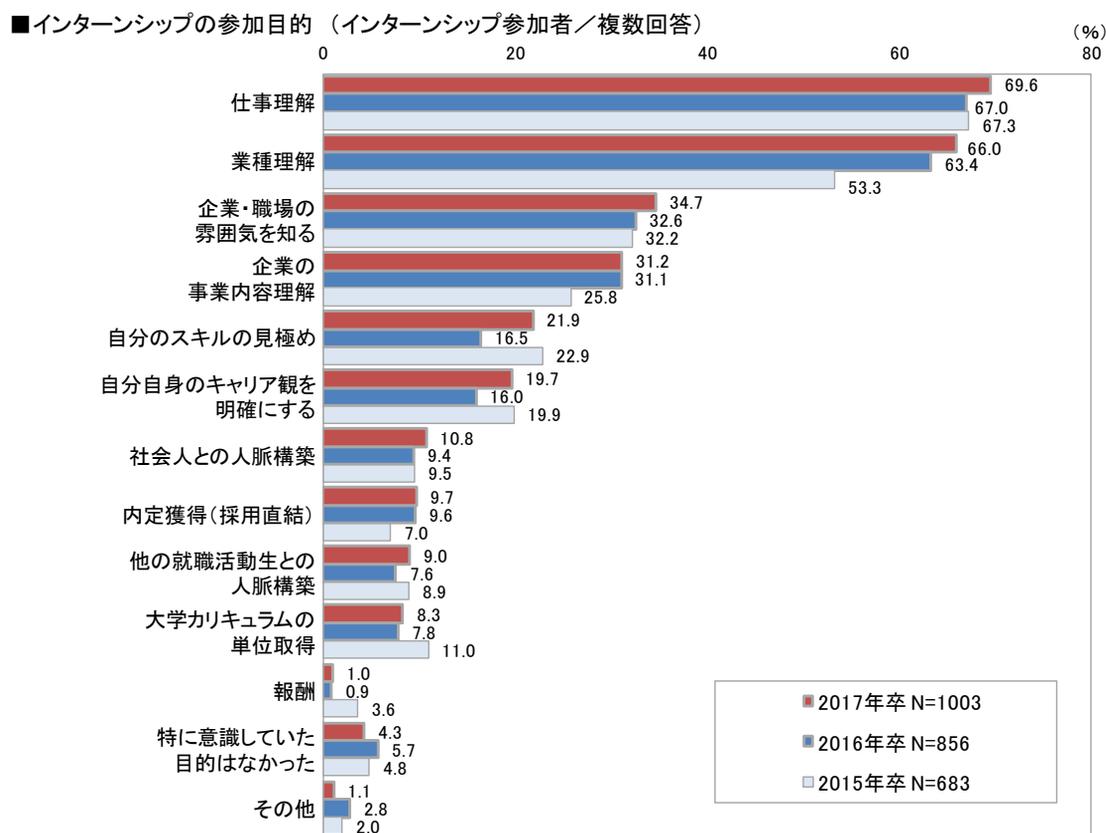


地域・計	N	プログラム内容 (%)								
		通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験	仕事をしている社員に同席あるいは同行	会社、仕事、業界に関する説明のみ	職場や工場の見学	社員の基幹的な業務の一部を経験	社員の補助的な業務の一部を経験	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験	その他	
全体	2017年卒	1003	47.2	41.3	34.9	34.9	34.0	26.0	4.9	1.5
	2016年卒	856	48.5	39.7	28.6	31.9	33.7	25.1	4.7	1.2
関東	2017年卒	453	49.2	35.2	33.4	31.4	32.0	24.1	5.7	1.1
	2016年卒	405	52.3	37.0	27.4	25.4	33.5	23.8	5.1	1.2
中部	2017年卒	138	43.1	50.7	36.1	43.6	40.0	30.4	2.2	2.4
	2016年卒	117	39.5	41.8	26.2	42.0	39.6	26.3	0.6	0.6
近畿	2017年卒	201	50.0	37.3	38.0	31.6	29.7	22.7	3.1	1.9
	2016年卒	160	56.1	35.2	32.3	35.2	28.2	23.2	6.1	2.0
地域・計	2017年卒	210	42.9	52.3	34.3	39.8	38.4	30.3	6.7	1.6
	2016年卒	175	39.1	49.0	29.5	37.2	35.3	28.8	5.3	0.9

3) 参加目的/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと

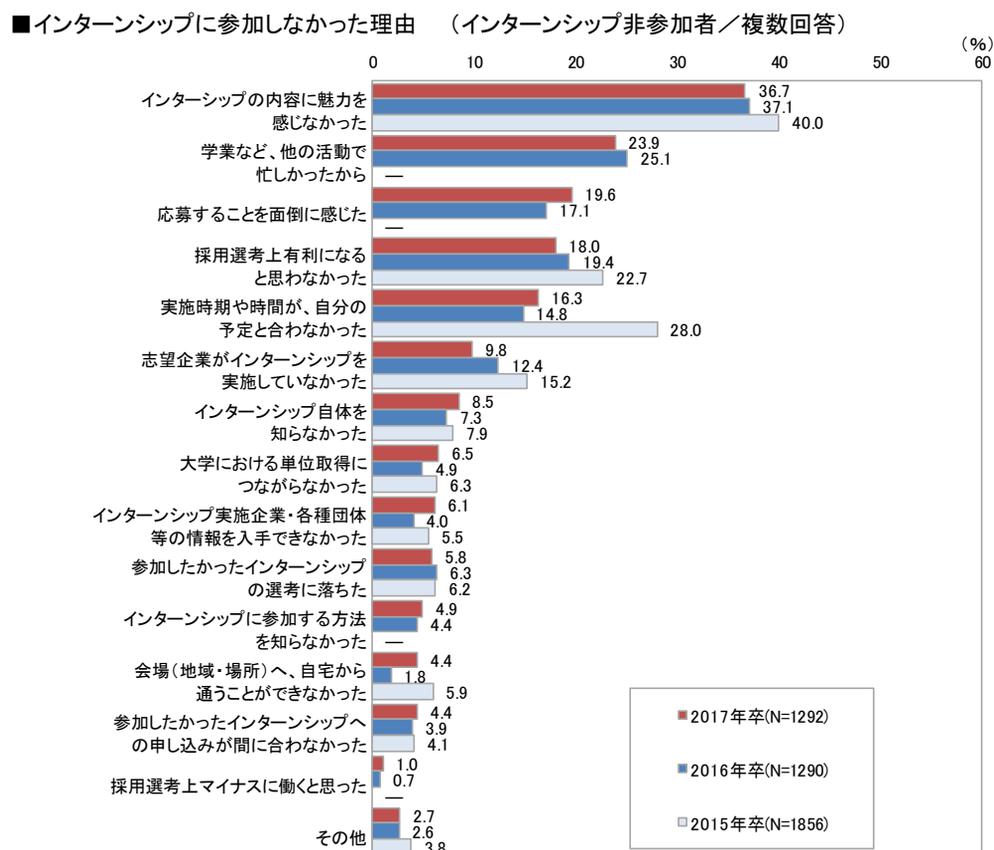
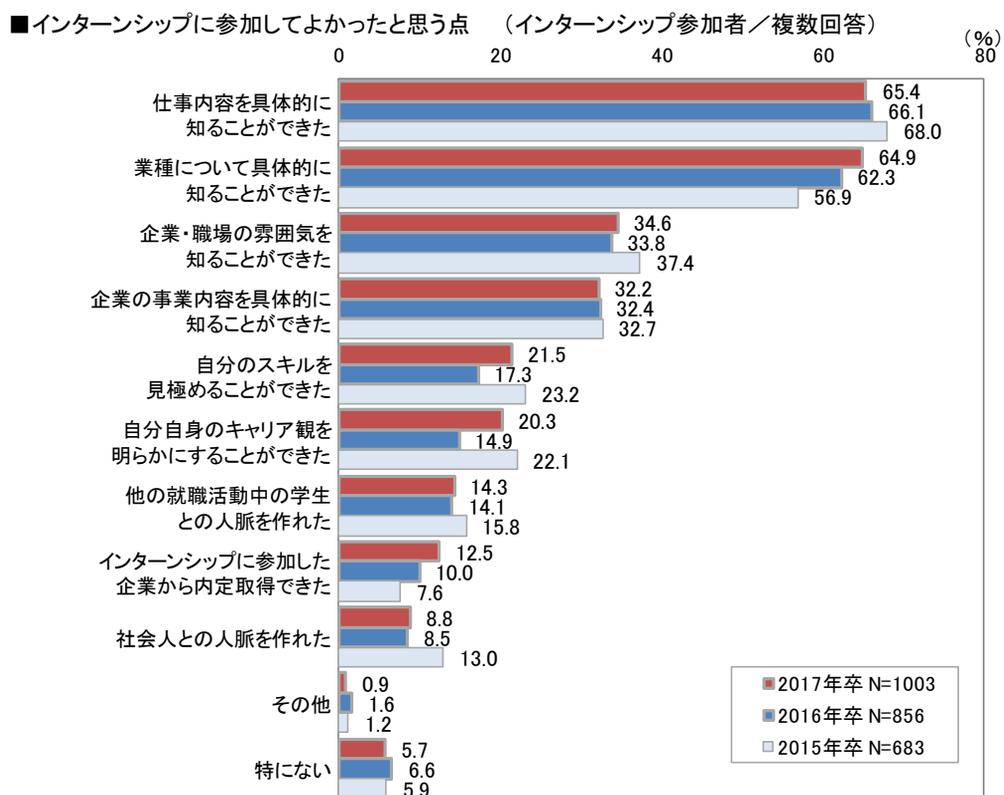
インターンシップの参加目的を見ると、「仕事理解」(69.6%)、「業種理解」(66.0%)、「企業・職場の雰囲気を知る」(34.7%)の順で多かった。

インターンシップ先を選ぶ際に重視したことを見ると、「業種」(61.1%)、「プログラム内容」(52.6%)、「職種」(39.2%)の順で多かった。



4) 参加してよかったと思う点/参加しなかった理由

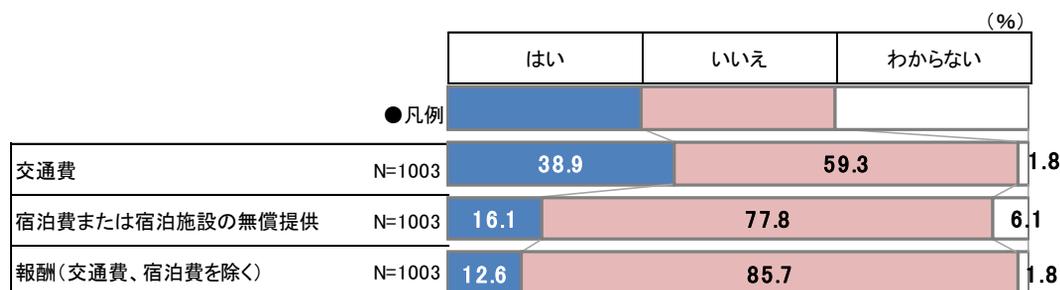
インターンシップに参加してよかったと思う点は、「仕事内容を具体的に知ることができた」(65.4%)が最も多く、「業種について具体的に知ることができた」(64.9%)、「企業・職場の雰囲気を知ることができた」(34.6%)の順で多かった。インターンシップに参加しなかった学生の理由を見ると、「インターンシップの内容に魅力を感じなかった」(36.7%)、「学業など、他の活動で忙しかったから」(23.9%)、「応募することを面倒に感じた」(19.6%)の順で多かった。



5) インターンシップでの報酬等の支給状況

参加したインターンシップでの、交通費などの支給状況を見ると、「交通費」を支給されたのは38.9%で、「宿泊費または宿泊施設の無償提供」は16.1%、「報酬（交通費、宿泊費を除く）」は12.6%であった。

■ インターンシップでの報酬等の支給状況（インターンシップ参加者／それぞれ単一回答）



□ 地域別のインターンシップでの報酬等の支給状況

		交通費					
		2015年卒		2016年卒		2017年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		683	37.1	856	32.3	1003	38.9
地域	関東	340	44.3	405	34.8	453	43.5
	中部	78	22.4	117	32.5	138	38.3
	近畿	140	28.5	160	32.9	201	32.8
	その他地域・計	125	36.5	175	26.1	210	35.3

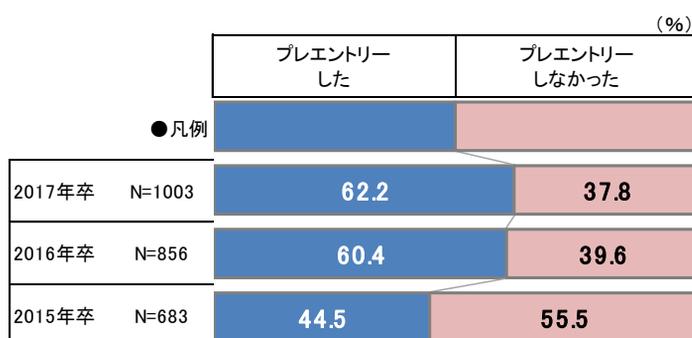
		宿泊費または宿泊施設の無償提供					
		2015年卒		2016年卒		2017年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		683	15.7	856	16.0	1003	16.1
地域	関東	340	16.9	405	12.7	453	16.5
	中部	78	11.3	117	16.3	138	17.5
	近畿	140	11.3	160	20.7	201	10.6
	その他地域・計	125	19.7	175	19.1	210	19.7

		報酬(交通費、宿泊費を除く)					
		2015年卒		2016年卒		2017年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		683	15.9	856	8.5	1003	12.6
地域	関東	340	19.3	405	8.5	453	16.7
	中部	78	7.2	117	6.6	138	11.9
	近畿	140	11.8	160	9.9	201	7.4
	その他地域・計	125	16.5	175	8.4	210	9.0

6) インターンシップ参加企業へのプレエントリー状況

2017年卒のインターンシップ参加企業へのプレエントリー状況について、「プレエントリーした」学生は62.2%と2016年卒と比べ1.8ポイント増加した。
 インターンシップ参加社数別で見ると、インターンシップ参加社数が「1社」の学生で「プレエントリーしなかった」割合は56.2%であるのに対し、インターンシップ参加社数が「6社以上」で見ると13.6%であった。

■ インターンシップ参加企業へのプレエントリー状況(インターンシップ参加者/単一回答)



		%		
		N	プレエントリーした	プレエントリーしなかった
全体	2017年卒	1003	62.2	37.8
	2016年卒	856	60.4	39.6
	2015年卒	683	44.5	55.5

		%		
		N	プレエントリーした	プレエントリーしなかった
関東	2017年卒	453	63.8	36.2
	2016年卒	405	61.7	38.3
	2015年卒	340	51.6	48.4
中部	2017年卒	138	63.2	36.8
	2016年卒	117	59.6	40.4
	2015年卒	78	30.7	69.3
近畿	2017年卒	201	61.0	39.0
	2016年卒	160	62.2	37.8
	2015年卒	140	39.4	60.6
地域・その他計	2017年卒	210	59.4	40.6
	2016年卒	175	56.5	43.5
	2015年卒	125	39.4	60.6

■ インターンシップ参加企業へのプレエントリー社数(インターンシップ参加社数別/実数回答)

		%								平均値
		N	プレエントリーしなかった	プレエントリーした						
				1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	
インターンシップ参加社数	1社	377	56.2	43.8	-	-	-	-	-	0.44社
	2社	247	36.0	25.1	38.9	-	-	-	-	1.02社
	3社	155	27.7	14.2	15.5	42.6	-	-	-	1.73社
	4社	44	22.7	11.4	18.2	11.4	36.4	-	-	2.24社
	5社	75	13.3	5.3	13.3	14.7	5.3	48.0	-	3.38社
	6社以上	103	13.6	3.9	6.8	4.9	1.9	21.4	47.6	6.74社

1) 内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社予定状況

企業の2017年卒の内定者の中に、インターンシップ参加者がいたのは72.5%で、2016年卒よりも6.0ポイント増加した。また、そもそも採用目的として実施している企業は23.2%と、2016年卒よりも3.3ポイント増加した。

■企業)内定者のインターンシップ参加状況(インターンシップ実施企業/単一回答)

		内定者の中に自社のインターンシップ参加者がいた			内定者の中には、インターンシップ参加者がいなかった	参加者がいた・計
		採用を目的として実施している	採用目的とはしてないが、結果的に内定者の中にインターンシップ参加者がいた	不明		
●凡例						
2017年卒	N=676	23.2	49.1	0.1	27.5	72.5
2016年卒	N=648	19.9	46.0	0.6	33.5	66.5
2015年卒	N=552	10.9	35.3	0.2	53.6	46.4

インターンシップに参加した学生に、インターンシップ参加企業への入社予定について尋ねたところ22.4%の学生が、「インターンシップ参加企業に入社予定である」と回答した。また「参加企業ではないが、同業種の企業に入社予定」の学生は27.4%で、合わせて49.8%の学生がインターンシップに参加した業種へ入社予定となった。

■学生)インターンシップ参加企業への入社予定状況(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)

		インターンシップ参加企業への入社予定状況				同業種・計
		インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他	
●凡例						
2017年卒	N=921	22.4	27.4	49.8	0.4	49.8
2016年卒	N=778	20.4	24.9	54.7	0.0	45.3
2015年卒	N=596	14.8	25.2	59.2	0.8	40.0

1) 内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社予定状況

■企業)内定者のインターンシップ参加状況 (インターンシップ実施企業/単一回答)

※内定者の中に自社のインターンシップ参加者が「いた」と回答した割合を掲載

(%)

		全体	従業員規模				業種					地域			
			300人未満	300~999人	1000~4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業	関東	中部	近畿	その他地域・計
			2017年卒	N	676	107	248	230	91	49	213	137	88	188	306
	いた	72.5	44.9	67.3	83.9	90.1	75.5	69.0	75.2	78.4	70.7	77.1	70.5	77.5	61.8
2016年卒	N	648	102	240	238	68	60	219	130	75	164	278	125	95	150
	いた	66.5	43.1	58.8	77.3	91.2	60.0	61.2	67.7	78.7	69.5	70.5	64.0	71.6	58.0
2015年卒	N	552	67	186	199	90	41	192	96	76	138	237	111	79	115
	いた	46.4	22.4	36.0	55.3	67.8	51.2	42.2	42.7	52.6	50.7	51.9	43.2	49.4	37.4

■企業)インターンシップの採用との連動 (インターンシップ実施企業/単一回答)

※「インターンシップはそもそも採用目的として実施している」と回答した割合を掲載

(%)

		全体	従業員規模				業種					地域			
			300人未満	300~999人	1000~4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業	関東	中部	近畿	その他地域・計
			2017年卒	N	676	107	248	230	91	49	213	137	88	188	306
	採用目的	23.2	16.8	18.1	27.8	33.0	20.4	25.4	25.5	12.5	24.5	29.4	21.2	22.5	12.5
2016年卒	N	648	102	240	238	68	60	219	130	75	164	278	125	95	150
	採用目的	19.9	16.7	20.4	19.7	23.5	18.3	18.7	23.8	8.0	24.4	23.0	21.6	20.0	12.7
2015年卒	N	552	67	186	199	90	41	192	96	76	138	237	111	79	115
	採用目的	10.9	6.0	8.6	15.1	11.1	12.2	8.3	16.7	5.3	13.8	14.8	7.2	7.6	9.6

■学生)インターンシップ参加企業への入社予定状況 (インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)

(%)

		N	インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他
全体	2017年卒	921	22.4	27.4	49.8	0.4
	2016年卒	778	20.4	24.9	54.7	—
	2015年卒	596	14.8	25.2	59.2	0.8
関東	2017年卒	408	23.5	28.2	47.9	0.5
	2016年卒	370	19.4	23.1	57.5	—
	2015年卒	295	14.9	27.3	57.0	0.8
中部	2017年卒	128	22.1	36.6	41.3	—
	2016年卒	111	27.3	23.5	49.1	—
	2015年卒	73	20.4	15.1	64.5	—
近畿	2017年卒	190	20.8	20.8	57.9	0.5
	2016年卒	144	18.3	22.2	59.4	—
	2015年卒	115	9.0	25.7	65.3	—
地域・計	2017年卒	196	21.7	26.3	51.5	0.4
	2016年卒	154	19.7	32.8	47.5	—
	2015年卒	113	16.7	26.0	54.9	2.3

※サンプル数が50未満の数値は、参考値としてご参照ください。

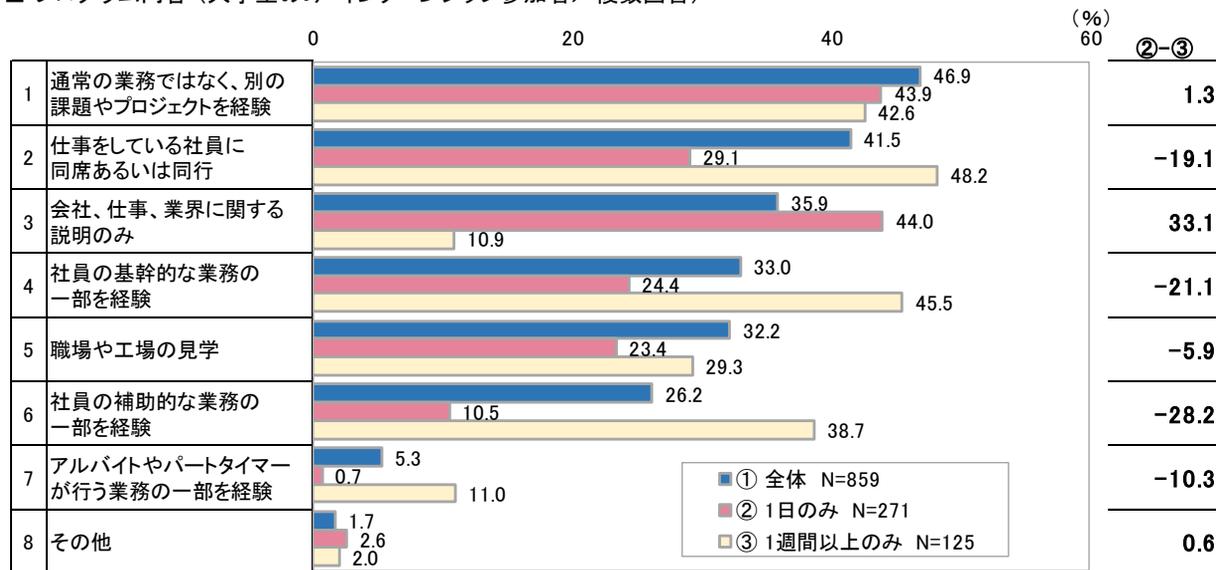
1) 参加期間毎に見るインターンシップの内容/参加時期

インターンシップの参加期間毎に違いがあるかどうか見てみる。インターンシップに参加した学生に、参加期間を「1日」「2日」「3日以上1週間未満」「1週間以上2週間未満」「2週間以上~1カ月未満」「1カ月以上3カ月未満」「3カ月以上」で複数回答にて聴取。ここでは、『①全体』『②1日のみ』（「1日」とのみ回答）、『③1週間以上のみ』（「1日」、「2日」、「3日以上1週間未満」以外を回答）として、「全体」を含めて分析を行った。ただし、いずれも参加社数は問わない形とした。

分析項目として、「プログラム内容」「参加期間」「参加目的」「参加してよかったと思う点」を比較した。

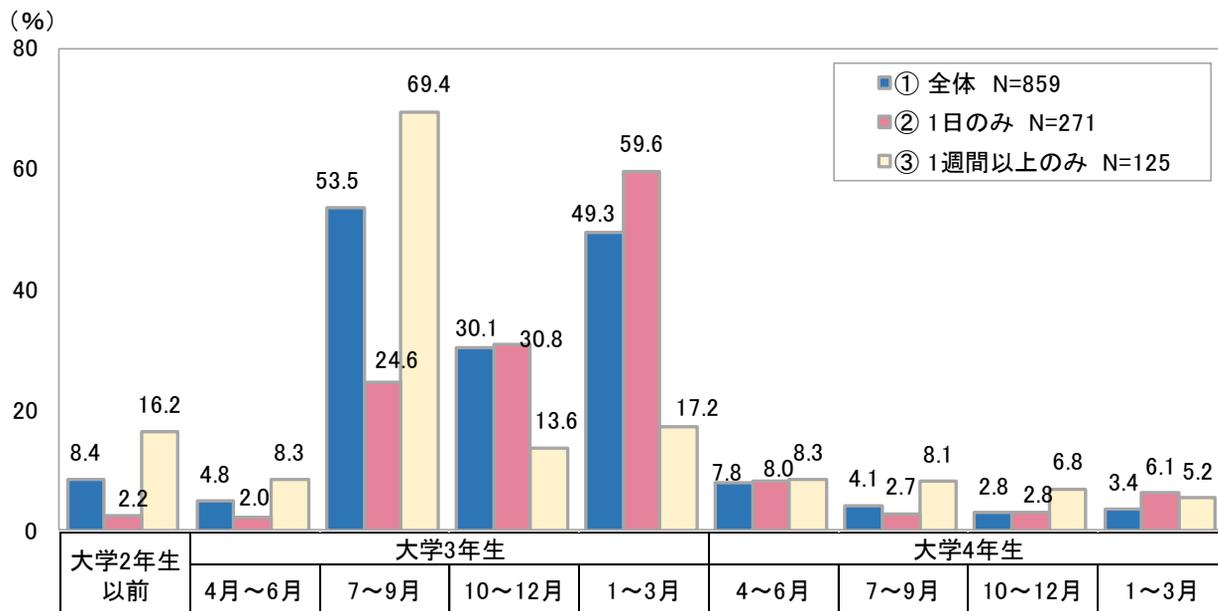
プログラム内容を見てみると、『①全体』では「通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験」「仕事をしている社員に同席あるいは同行」「会社、仕事、業界に関する説明のみ」の順で多かった。対して『②1日のみ』で最も回答が多いのは「会社、仕事、業界に関する説明のみ」（44.0%）で、『③1週間以上のみ』と比べると33.1ポイント多い。また「②1日のみ」より「③1週間以上のみ」が多く、差が最も大きいものは「社員の補助的な業務の一部を経験」で、その差は28.2ポイントであった。

■ プログラム内容（大学生のみ・インターンシップ参加者/複数回答）



インターンシップの参加時期を見ると、『①全体』では大学3年生の「7~9月」「1~3月」「10~12月」の順で多かった。対して『②1日のみ』では大学3年生の「1~3月」が最も多く、『①全体』と比べて10.3ポイント、『③1週間以上のみ』と比べて42.4ポイント多い。『③1週間以上のみ』では、最も参加が多い時期は「大学3年生の7~9月」で、『②1日のみ』と比べると44.8ポイントが多い。

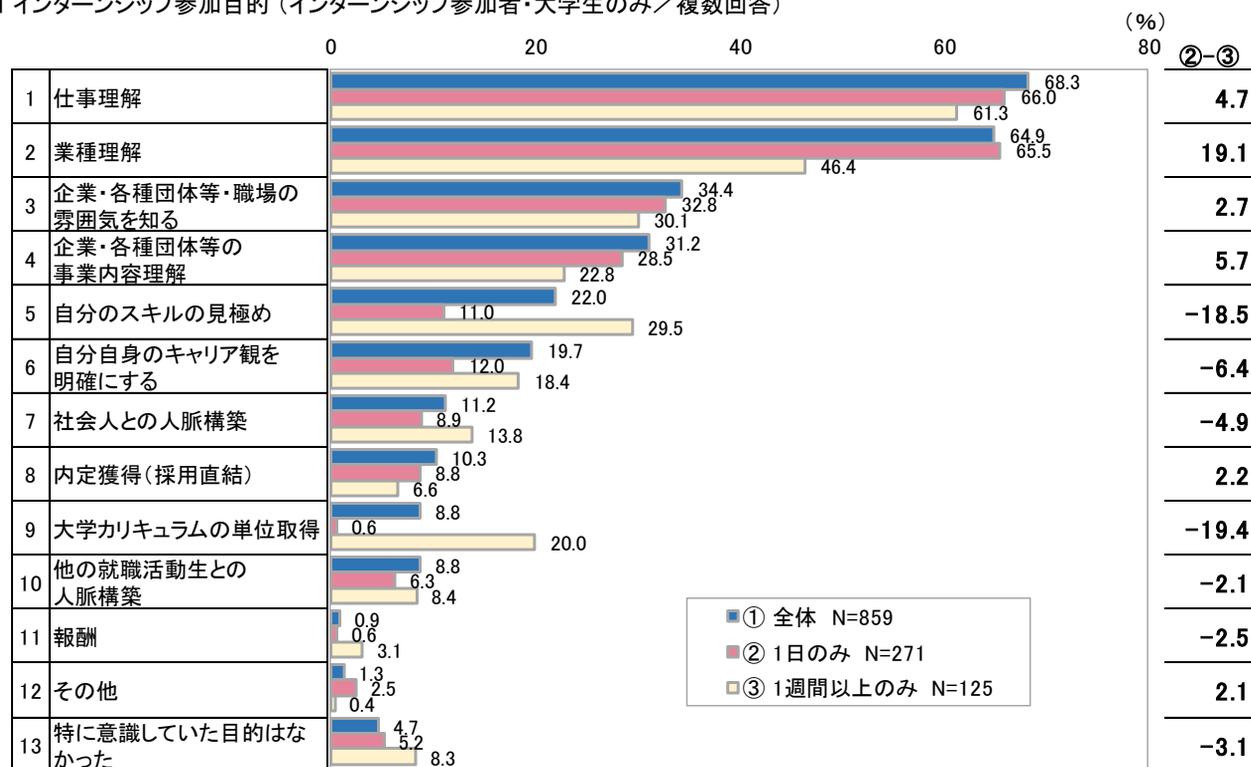
■ インターンシップ参加時期（大学生のみ・インターンシップ参加者/複数回答）



2) 参加期間毎に見るインターンシップの参加目的/参加してよかったと思う点

インターンシップの参加目的を見ると、『① 全体』『② 1日のみ』『③ 1週間以上のみ』ともに、「仕事理解」「業種理解」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知る」の順で多かった。『② 1日のみ』と『③ 1週間以上のみ』の差を見ると、『② 1日のみ』の方が多く差が最も多いものは、「業種理解」(19.1ポイント)であった。一方、『③ 1週間以上のみ』の方が多く差が最も多いものは、「大学カリキュラムの単位取得」(19.4ポイント)であった。

■ インターンシップ参加目的 (インターンシップ参加者・大学生のみ/複数回答)



インターンシップに参加してよかったと思う点を見ると、『① 全体』では「仕事内容を具体的に知ることができた」「業種について具体的に知ることができた」「企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた」の順で多かった。対して『② 1日のみ』で最も多いものは、「業種について具体的に知ることができた」で、『③ 1週間以上のみ』より13.5ポイント多い。『② 1日のみ』と『③ 1週間以上のみ』の差が最も多いものは、「自分のスキルを見極めることができた」で、『③ 1週間以上のみ』の方が25.4ポイント多い。

■ インターンシップに参加してよかったと思う点 (インターンシップ参加者・大学生のみ/複数回答)

